

大阪公立大学大学院理学研究科 博士前期課程 学生募集要項

2022年度秋入学

外国人留学生特別選抜



<新型コロナウイルス感染症への対応について>

新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学入試情報サイト

<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/>



2022年4月
大阪公立大学

目次

博士前期課程

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
〔1〕 募集人員	2
〔2〕 出願資格	2
〔3〕 事前相談	3
〔4〕 出願手続	3
〔5〕 入学者選抜方法	8
〔6〕 合格者発表等	10
〔7〕 入学手続等	10
〔8〕 学費（入学料・授業料）	10
〔9〕 経済支援制度について	11
〔10〕 長期履修制度	11
〔11〕 その他	11
〔12〕 出願資格審査	12
大学院の概要	14
交通アクセス・問合せ先	20

理学研究科博士前期課程の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本研究科では、高度な研究能力・研究経験、豊かな学識を生かして、アカデミアや産業界等における研究者・技術者や高度な政策立案を担い得る行政職員など、社会の各般において活躍できる人材の養成を目指す。

少人数教育の特長を最大限に活用し、密度の濃い双方向型の教育を行う。事象や物質の本質を洞察し理解する論理的思考力とコミュニケーション能力を鍛錬するとともに、基礎科学の深い知識とその応用への視点も併せ持つ人材の育成を念頭に置き教育課程を編成する。

基礎科学分野の研究者・技術者をめざすためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

このような能力を有する学生を受け入れるため、本研究科は入学者に次の3点を求める。

1. 論理的思考力と自ら進んで学ぶ探求心を有している人
2. 専攻する学問分野の基礎と英語論文の読解力を十分に修得している人
3. 専門分野への強い関心と基礎的な研究能力を有している人

以上に基づき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

1. 各専攻の研究・教育に必要な基礎学力を備えていること
2. 英文等で書かれた学術論文を読むための語学力を備えていること
3. 研究に対する意欲と具体的な展望を持ち、研究のために必要な論理的思考力を有すること
4. 教員や学生同士との議論をできるコミュニケーション能力を有すること

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは、Webサイトをご覧ください。

(<https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/policy.html>)

修業年限

博士前期課程の標準修業年限は2年です。

〔1〕 募集人員

専攻	入学定員	募集人員
数学専攻	21名	若干名
物理学専攻	55名	若干名
化学専攻	60名	若干名
生物学専攻	26名	若干名
地球学専攻	15名	若干名
生物化学専攻	23名	若干名

注 選抜試験の成績により合格者を出さない場合があります。

〔2〕 出願資格

日本国籍を有しない者で、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する外国人留学生又は入学時まで「留学」の在留資格を取得できる見込みの者、かつ、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び2022年9月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2022年9月までに修了見込みの者
- (5) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(3)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年9月までに授与される見込みの者
- (7) 外国人留学生として学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 2022年9月末で、外国人留学生として日本の大学に3年以上、又は外国において4年制大学に3年以上在学し、もしくは15年の課程を修了し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年9月30日現在において22歳以上のもの

注1 〔2〕出願資格(4)の専修学校の専門課程は修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限りす。

注2 〔2〕出願資格(7)から(9)により出願しようとする者は、出願資格認定が必要です。（〔12〕出願資格審査参照）

注3 〔2〕出願資格(9)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業生など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたものです。

注4 「留学」の在留資格を有しない者又は取得しない者が出願を希望する場合は、2022年5月6日（金）までに本研究科教務担当に問い合わせてください。

〔3〕 事前相談

出願しようとする者は、インターネット出願登録期間初日の2週間前までに、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。

なお、研究指導教員の連絡先は、本研究科教務担当に問い合わせてください（裏表紙参照）。

〔4〕 出願手続

出願手続は、インターネット出願登録及び出願書類の提出により行います。

※日本国外（海外）から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、インターネット出願登録期間初日（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）の1週間前までに、志望研究科及び氏名を入試課（gr-nyu-s@omu.ac.jp）へメールで連絡してください。

1 出願期間

項目	期間
インターネット出願登録期間	2022年6月1日(水)10:00～2022年6月8日(水)17:00
出願書類提出期間	2022年6月1日(水)～2022年6月8日(水) <6月8日までの消印有効>

注1 出願書類は簡易書留郵便により郵送してください。本学へ直接持参しても受理できません。ただし、大阪市立大学、大阪府立大学及び大阪公立大学に在学している者（研究生・研修生等を含む）については、出願書類提出期間中（土日祝日を除く）の10:00～17:00（12:00～12:45を除く）の時間に限り、本研究科教務担当に直接提出することができます。


注2 EMS等、海外から郵送の場合は、日本国内の郵便局等に到着した日が出願書類提出期間最終日までであれば、有効とします。

2 出願方法

次のstep1～step6の手順で出願を行ってください。

●事前準備		
step 1	パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。
	印刷環境	・郵送が必要な書類をA4サイズの白の用紙で印刷します。
	メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.netを受信可能なドメインとして設定してください。
	出願に必要な書類	・〔4〕出願手続 4 出願書類等を参照の上、〔4〕出願手続 1 出願期間 の出願書類提出期間に間に合うようあらかじめご用意ください。
	出願書類等封入用封筒	・市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を用意し、「宛名ラベル」を貼り付け、出願書類等を封入してください。 ※「宛名ラベル」は「step5」を確認してください。

●インターネット出願サイトにアクセス	
step 2	・本学Webサイトにアクセスの上、出願登録期間中（〔4〕出願手続 1 出願期間 参照）にインターネット出願サイトにアクセスしてください。
	本学WebサイトURL https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/inet-apply.html



●出願登録

step 3	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトの「利用案内」「出願手順」「Q&A」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。 ※出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、必ず最終確認画面で登録した内容を十分確認してください。
---------------	---

step 4	●入学検定料等の支払い			
	<ul style="list-style-type: none"> インターネット出願サイトの指示に従って、次の(1)から(4)のいずれかの方法で、入学検定料(30,000円)をお支払いください。(〔4〕出願手続 3 入学検定料等の支払方法 参照) 入学検定料の他に、支払手数料(990円)が必要となります。 			
	(1)	(2)	(3)	(4)
	クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM(ペイジー)	ネットバンキング

step 5	●出願確認票及び宛名ラベルの印刷			
	<ul style="list-style-type: none"> 登録したユーザーID、パスワードにて再度インターネット出願サイトにアクセスし、A4サイズの白の用紙に片面で印刷してください。 ※インターネット出願登録期間内(〔4〕出願手続 1 出願期間 参照)に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。 			

step 6	●出願書類の提出			
	<ul style="list-style-type: none"> 〔4〕出願手続 4 出願書類等 を参照の上、出願書類を提出してください。 ※出願書類提出期間に必要な書類が到着しなければ、出願は受理できません。郵送の場合は、郵便事情を十分考慮し、簡易書留郵便により余裕を持って郵送してください。(〔4〕出願手続 1 出願期間 参照) 			

3 入学検定料等の支払方法

出願登録の際に必要な料金は以下のとおりです。

- ・入学検定料 30,000円
- ・支払手数料 990円

※日本国外(海外)から出願する者は、出願方法を別途ご案内しますので、インターネット出願登録期間初日(〔4〕出願手続 1 出願期間 参照)の1週間前までに、志望研究科及び氏名を入試課(grnyu-s@omu.ac.jp)へメールで連絡してください。

支払方法は、次の4種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1) クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club (注) 支払方法は、一括払のみです。
(2) コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート (注) 支払方法は、現金のみです。
(3) ATM(ペイジー)	金融機関でPay-easyマークの付いているATMで支払うことができます。
(4) ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy対応の全国1,000行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 (注) ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

4 出願書類等

インターネット出願サイトにて出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、次の書類を全てそろえて出願書類提出期間に提出してください。出願書類等は、必ず以下の「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）に封入してください。

本学所定の様式は、本学Webサイトからダウンロードできます。

（A4サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限りPC等での作成も可。手書きの場合は、黒のボールペン（消せるボールペンは不可）を使用し、本人が記入してください。）

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gsci.html

【注意事項】

- ・氏名が卒業証明書、成績証明書等の氏名と異なる場合は、そのことを証する書類（戸籍抄本等）を提出してください。※原本（コピー不可）
- ・和文、英文以外のものについては、公的機関（出身大学、日本語学校、公証役場、大使館等）の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません。
- ・出願手続後は記載事項の変更を認めません。
- ・必要に応じて、追加書類の提出を求めることがあります。

1	出願確認票（大学提出用）	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズの白の用紙に印刷してください。
2	卒業（見込）証明書 ※原本（コピー不可）	最終出身（在籍）大学のもの。 ※学士等の学位の記載があるもの。記載がない場合は学位取得証明書も提出してください。 （〔2〕出願資格(7)から(9)に該当する者は不要です。） ※学士等の学位を取得していない場合は出願前にご相談ください。 ※卒業証書（原本）又は卒業証書を出願者がコピーしたものの提出は認めません。
3	成績証明書 ※原本（コピー不可）	最終出身（在籍）大学のもの。 ※編入学で入学した場合は、編入学する以前に在籍していた学校の成績証明書も併せて提出してください。 （〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は不要です。）
4	日本語の能力証明書 ※いずれかを提出	・日本語の公的試験の成績表（コピー可、受験年度不問） ・日本語学校や大学が作成した証明書（コピー不可） 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出してください。（様式任意） ※個人の印では認めません。 ※証明するものが提出できない場合は出願前にご相談ください。
5	在留資格・期間を証明する書類	【日本国内に居住する者】 「在留カード」の両面コピー又は市区町村が発行する「住民票の写し（原本）」（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）を提出してください。 【外国居住者又は短期滞在者】 「パスポートのコピー」写真・国籍・氏名が掲載されているページと上陸許可（短期滞在者のみ）が掲載されているページを提出してください。

6	出願資格認定通知書	〔2〕出願資格(7)から(9)により出願する者は提出してください。
7	履歴書	本学所定の様式を用い、提出してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記載してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、全て記載してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記載してください。
8	推薦書（厳封）	最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成したもの。
9	志望理由書 ※地球学専攻以外の専攻に出願する者	500字以内で志望理由を記したものを（A4判、様式任意）を1部提出してください。
10	英語外部試験のスコア証明書（原本） ※数学専攻・地球学専攻以外の専攻に出願する者	（物理学専攻） 2020年6月1日から2022年5月31日の間に受験したTOEIC Listening & Reading TestのOFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）、TOEIC IPテストのIP Score Report（個人成績表）又はTOEFL-iBTのTest Taker Score Report（あるいはExaminee Score Report）の原本。 ・スコアを提出することにより、英語筆記試験の成績に代えることができます。ただし、スコアを提出した場合は英語筆記試験を受験することはできません。 ・提出されたスコア証明書(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。 ・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合は、再提出（差し替え）を認めます。 ・出願時にスコア証明書が提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式任意）を出願書類とともに提出してください。
		（化学専攻・生物学専攻） 2020年6月1日から2022年5月31日の間に受験したTOEIC Listening & Reading TestのOFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）（TOEIC IPテストは不可）、TOEFL-iBTのTest Taker Score Report（あるいはExaminee Score Report）又はIELTSのTest Report Form-TRFの原本。 ・提出されたスコアを英語の成績として点数換算し評価します。 ・提出されたスコア証明書(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。 ・出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合は、再提出（差し替え）を認めます。 ・出願時にスコア証明書が提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書（様式任意）を出願書類とともに提出してください。
		（生物化学専攻） 2020年6月1日から2022年5月31日の間に受験したTOEIC Listening & Reading TestのOFFICIAL SCORE CERTIFICATE（公式認定証）、TOEIC IPテストのIP Score Report（個人成績表）、

		TOEFL-iBTのTest Taker Score Report (あるいはExaminee Score Report) 又はIELTSのTest Report Form-TRFの原本。 <ul style="list-style-type: none"> 提出されたスコアを英語の成績として点数換算し評価します。 提出されたスコア証明書(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。 出願時にスコア証明書を提出した場合であっても、試験当日により良い成績の最新スコア証明書がある場合は、再提出(差し替え)を認めます。 出願時にスコア証明書が提出できない場合は、提出できない理由を記載した理由書(様式任意)を出願書類とともに提出してください。
11	写真票及び縦4cm×横3cmの写真	本学所定の様式に必要な事項を記載し、写真(上半身、無帽で願日より3か月以内に撮影したもの)を貼ってください。
12	宛名ラベル	インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからA4サイズの白の用紙に印刷の上、市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けてください。

5 出願についての注意

(1) [4] 出願手続 1 出願期間 内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類提出の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しませんので、ご注意ください。

(2) 志願者情報の入力について

住所は、郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、本研究科教務担当まで問い合わせるか、郵便局に転居届を提出してください。

(3) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。入学検定料支払い前に誤入力に気がついた場合は、入学検定料を支払わずに、もう一度新たに最初から登録をやり直してください。また、出願受理後の出願取消しは、一切認めません。

(4) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(5) 出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。

(6) 既納の入学検定料は次の事由以外は還付しません。

○還付可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
- ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・重複して入学検定料を払い込みした場合

(注) 還付方法等は、出願書類提出期間最終日から1か月以内に入試課に問い合わせてください。

※インターネット出願サイトの操作方法に関する問い合わせは、出願サイトで確認してください。

6 受験票について

受験票の印刷が可能になりましたら、インターネット出願時に登録したメールアドレスあてに通知します。通知後、インターネット出願サイトにユーザーID、パスワードを入力し、A4サイズの白の用紙に受験票の印刷を各自で行ってください。試験日2週間前になってもメールが届かない場合は、必ず本研究科教務担当までご連絡ください。なお、受験票は試験当日忘れずに持参してください。

7 受験上・修学上の配慮について

障がいがある等、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、原則として2022年5月6日(金)までに、本研究科教務担当に申し出てください。

〔5〕 入学者選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス（JR 阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車）です。

受験の際には、各自で印刷した受験票を必ず持参してください。

（予備日）

自然災害等の不測の事態により、下記日程での試験実施が困難となった際、2022年7月3日（日）を予備日とします。

※試験等が予定通り実施できない場合、本学Webサイトにてお知らせしますので、確認してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/g_s_sci.html

1 試験科目・日時等

<数学専攻>

2022年7月2日（土）	
9：30～12：00	13：00～
筆記試験	口述試験
専門科目及び英語	
数学の基礎分野及び志望する専門分野について、 英語による問題を英語で解答	専門科目、卒業研究、入学後の研究計画等について

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄には、第1志望の講座名・講座番号を入力してください。専門分野名は不要です（「大学院の概要」（14ページ）参照）。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

<物理学専攻>

2022年7月2日（土）	
9：30～12：00	13：00～
筆記試験	口述試験
専門科目及び英語	
専門科目は物理学全般 ※英語は外部試験に変更可	入学後の研究計画、物理学全般に関する 専門的事項及び日本語修得の程度等について

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄の1～3には、志望する順に講座名・講座番号・専門分野名を入力してください（「大学院の概要」（15ページ）参照）。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

<化学専攻>

2022年7月2日（土）	
13：00～	
口述試験	
専門科目、卒業研究、入学後の研究計画、日本語の修得の程度等について行います。	

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄には、第1志望の講座名・講座番号・専門分野名を入力してください（「大学院の概要」（16ページ）参照）。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

<生物学専攻>

2022年7月2日（土）	
9：30～11：30	13：00～
筆記試験	口述試験
専門科目 生物学全般（分子生物学、生物物理学、生化学、細胞生物学、発生生物学、生理学、生態学、進化生物学、系統分類学、など）	専門科目、卒業研究、入学後の研究計画等について行います。

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄には、「なし」と入力してください。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

<地球学専攻>

2022年7月2日（土）	
9：30～12：00	13：00～
筆記試験	口述試験
専門科目及び英語 地球科学の基礎分野及び志望する専門分野について、英語による問題を英語で解答	入学後の研究計画と卒業研究の内容、日本語能力など

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄には、「なし」と入力してください。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

<生物化学専攻>


2022年7月2日（土）	
13：00～	
口述試験	
専門科目と卒業研究、入学後の研究計画等	

【インターネット出願登録入力上の注意】

- ① 「講座名・講座番号・専門分野」欄には、「なし」と入力してください。
- ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を入力してください。

〔6〕合格者発表等

1 合格者発表

発表日時	掲載場所
2022年7月12日（火）10：00	https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/pass.html 

合格者については、本人あてに通知します。また、合格者の受験番号を本学Webサイトに掲載します。掲載期間は、発表日時から発表日を含む7日目の17：00までです。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

2 合格通知書及び入学手続書類

合格者発表日に、本研究科教務担当において合格通知書とともに入学手続書類をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に本研究科教務担当へ連絡してください。

〔7〕入学手続等

(1) 入学時期

2022年9月24日（土）

※ただし、2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者の入学日は、2022年10月1日（土）になります。

(2) 入学手続

日 時 2022年9月12日（月） 10:00～15:00（ただし、12:00～12:45を除く）

場 所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

なお、入学手続時までには、入学料の納付が必要です。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

〔8〕学費（入学料・授業料）

現時点での予定は次のとおりですが、いずれも改定される場合があります。

1 入学料 「大阪府民及びその子」282,000円 「その他の者」382,000円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続きを行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、入学日の1年以上前（2022年秋入学者の場合は2021年9月24日以前）から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

※2022年9月24日から9月30日までの間に入学資格を得る者は、2021年10月1日以前から引き続き大阪府内に住民票がある者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

- ・入学料は、入学手続日までに所定の振込用紙にて納付してください。
- ・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。
- ・入学手続完了後は、入学を辞退した場合でも入学料を返還しません。
- ・本学では入学料の納付時期の猶予は行いません。

2 授業料 [年額] 535,800円

- ・授業料は、年額の1/2を半期毎に、ご登録いただく口座からの引落により納付していただきます。
- ・口座引落日は前期：5月27日、後期：10月27日です。引落日が金融機関の休日等にあたる場合は、その翌営業日を引落日とします。
- ・授業料減免申請者や長期履修学生は、当該年度の授業料金額及び引落日が上記と異なることがあります。

〔9〕 経済支援制度について

詳細については、確定次第、改めて大阪公立大学のWebサイトにてご案内します。

〔10〕 長期履修制度

博士前期課程の標準修業年限は2年です。

社会人あるいは育児、介護などによって十分な学修時間を確保することが難しいなど、標準修業年限での修了が困難な学生には、標準修業年限内の授業料で修業年限を計画的に延長する長期履修学生制度があります。詳しくは本研究科教務担当に問い合わせてください。

〔11〕 その他

1 個人情報保護の取扱いについて

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (2) 本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

2 個人別成績の情報提供について

個人別成績について、以下のとおり提供します。

(1) 提供期間

2022年11月1日（火）10：00から2022年11月30日（水）15：00まで

(2) 提供対象者

受験者本人に限ります。

(3) 請求方法

下記URLにアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/score.html

ア 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず4桁の成績開示用暗証番号を登録してください。成績開示用暗証番号は、出願登録時にのみ登録できます。成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますが、取扱いに十分注意してください。

イ 成績開示用パスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。

例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「987654」の場合は「1230987654」となります。

ウ 本人確認として生年月日の入力が必要です。

3 出願書類等に虚偽があった場合、または入学者選抜において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

4 出願資格認定による出願者で、本研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

5 本学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づく、安全保障輸出管理に関する規程を定め、物品の輸出及び技術の提供の観点から厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育



が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、ご注意ください。

- 6 過去の試験問題は本研究科で閲覧できます。詳細は本研究科教務担当に問い合わせてください。
- 7 入学日が10月1日の者も、9月24日から開始している後期の授業を受講することができます。

[12] 出願資格審査

[2] 出願資格(7)から(9)に該当する者が対象です。

1 出願資格審査申請について

必ず**本研究科教務担当へ事前連絡**をし、出願資格審査申請書（本学所定の様式）を本学Webサイトからダウンロードし、A4サイズの白の用紙に片面でプリントアウトしてください。

本学Webサイト

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/g/exam_info/graduate/gsci.html

2 提出書類

該当する出願資格に記載の書類を提出してください。

①出願資格(7)により出願しようとする者

1	出願資格審査申請書（本学所定の様式）
2	在籍した最終大学(学部)の退学証明書及び在籍大学院研究科の在籍証明書又は修了(見込)証明書
3	在籍した大学(学部)の成績証明書及び在籍大学院研究科の成績証明書

②出願資格(8)により出願しようとする者

1	出願資格審査申請書（本学所定の様式）
2	成績証明書
3	在学証明書
4	指導予定教員の受け入れ承諾書(厳封したもの、様式任意) ※物理学専攻以外の専攻に出願する者
	指導教員等の所見に基づき、出身大学の学科長あるいは学部長が作成した推薦書(厳封したもの、様式任意) ※物理学専攻に出願する者

③出願資格(9)により出願しようとする者

1	出願資格審査申請書（本学所定の様式）
2	最終出身学校の成績証明書
3	卒業(修了)証明書
4	最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)

【注意事項】

- ・職務経歴、学力に関する書類、志望理由書等、上記以外の書類の提出を求める場合があります。
- ・本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。
- ・提出書類は、原則として返却しません。
- ・旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を証する書類(戸籍抄本等)を提出してください。※原本(コピー不可)
- ・和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、公証役場、大使館等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。個人の署名や印では認めません。

3 受付期間等

受付期間	送付先（問合せ先）
2022年4月25日（月）～ 5月6日（金） <u>必着</u> （注）簡易書留・受付期間必着で郵送してください。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪公立大学 杉本キャンパス 学生サポートセンター理学研究科教務担当 Tel 06-6605-2504 （注）封筒の表には「理学研究科出願資格審査書類 在中」と「赤色」で書いてください。

4 審査の結果

申請書類により審査し、出願書類提出期間最終日の1週間前までに郵送(速達)で通知します。
なお、2022年度本研究科入学者選抜に限り有効です。

大学院の概要

《数学専攻》

講座名・講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
数学構造論・A1	幾何学関連 代数学関連	秋吉 宏尚 尾角 正人 嘉田 勝 加藤 希理子 加藤 信 川添 充 神田 遼 小池 貴之 佐野 昂迪 高橋 哲也 田丸 博士 橋本 光靖 橋本 義規 蓮井 翔 水野 有哉 源 泰幸 宮地 兵衛 山口 睦 山名 俊介	双曲幾何と3次元多様体論 可積分系と表現論 公理的集合論、集合論的位相空間論（とくに集合論的手法による実数集合の構造の解析） 環論（ホモロジー代数の圏論的手法による研究） 大域解析学（多様体の幾何解析） 暗号理論（とくに代数学・代数幾何学の応用としての暗号研究）、数学教育（とくに大学レベルの数学教育） 環論、非可換代数幾何学 複素幾何学、多変数関数論 L関数の特殊値と岩澤理論 暗号、整数論、大学レベルの数学教育 等質空間の微分幾何学 可換環論と不変式論 複素幾何学、微分幾何学 代数的位相幾何学 多元環の表現論 環のホモロジー代数（圏論的代数幾何の観点等を用いた環の導来圏の研究） Hecke環の表現論と圏化 代数的位相幾何学、ホモトピー論 モジュラー形式とL関数
数理解析学・A2	解析学関連 応用数学および統計数学関連	阿部 健 伊師 英之 数見 哲也 壁谷 喜継 菅 徹 今野 良彦 城崎 学 砂川 秀明 高橋 太潮 田中 潮 田中 秀和 谷川 智幸 村隆 志 松永 秀章 丸田 辰哉 物部 治徳 山岡 直人 吉田 雅通 綿森 葉子	偏微分方程式論 リー群の表現論、非可換調和解析 確率解析 微分方程式（楕円型・放物型偏微分方程式、及び常微分方程式） 偏微分方程式、常微分方程式 数理統計学、多変量解析、統計的決定理論 値分布論、複素解析 双曲型および分散型の非線形偏微分方程式 変分法、非線形偏微分方程式論 微分幾何学（大域解析学、Riemann幾何学、幾何解析学）、Shape Theory、点過程論 数理統計学、確率分布論 微分方程式の定性的理論、常微分方程式 確率論、確率制御、数理ファイナンス 時間遅れをもつ方程式、差分方程式 代数的符号理論と有限幾何 反応拡散方程式、現象数理 常微分方程式、数値解析 エルゴード理論、力学系に基づく作用素環論 数理統計学、特に方向データの統計的解析

《物理学専攻》

講座名・ 講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
基礎物理学・ B1	素粒子論 原子核理論 宇宙物理学 数理物理学 数理物理学(場の理論・弦理論) 電波天文学	波場 直之 丸 信人 板垣 直之 中尾 憲一 森山 翔文 会沢 成彦 堀内 涉 吉野 裕高 西中 崇博	素粒子標準模型を超える新しい物理の探求と素粒子論的宇宙論 超対称模型、余剰次元模型に基づく標準模型を超える素粒子 原子核構造理論・中性子過剰原子 宇宙論及び重力理論 弦理論とゲージ理論の数理 代数の表現論を用いた古典・量子系の数理物理 原子核の構造・反応に関する理論的研究：少数粒子系 量子力学、高エネルギー原子核反応、天体核物理 重力場の物理：重力理論、ブラックホール、量子重力 超対称場の理論と弦理論
宇宙・高エネルギー物理学・ B2	宇宙線物理学 高エネルギー物理学 宇宙・素粒子実験物理学 重力波実験物理学 電波天文学	常定 芳基 清矢 良浩 中野 英一 神田 展行 大藤 利和 山本 俊博 岩崎 和弘 伊藤 昌子 前澤 洋介 裕之 村岡 和幸	超高エネルギー宇宙線物理学 ニュートリノ物理、ミューオン物理、陽子・反陽子衝突実験 素粒子実験物理、宇宙線観測 重力波検出実験、重力波宇宙物理学 電波分光による宇宙観測研究 宇宙線観測による極高エネルギー物理現象の研究 ニュートリノ物理、ミューオン物理、陽子・反陽子衝突 電子・陽電子衝突型加速器を用いた素粒子実験物理 重力波天文学、一般相対性理論 電波分光による宇宙・惑星の観測的研究と超伝導検出 素子の開発 電波分光を用いた銀河の進化・形成に関する研究
物性物理学・ B3	素励起物理学 電子相関物理学 非線形物理学 量子力学 生体光物理 生体・構造物性物理学 光エレクトロニクス物理 熱電物性 分子磁性 極限物性 超低温物理学 レーザー量子物理学 光物性	坪田 誠 小栗 章 田中 智 田本 琢也 飯田 勝一 溝口 幸司 井上 慎 石川 修六 野口 悟 細越 裕子 久保田 佳基 水口 毅 神吉 一樹 杉崎 満 河相 武利 大島 悟郎 矢野 英雄 小野 俊雄 山口 博則 石橋 広記 小菅 厚子 竹内 宏光 西川 裕規 野場 賢一 小原 顕 サバンナ ガーモン	物性理論：量子流体 物性理論：電子系の低エネルギー量子状態・多体効果 非平衡量子開放系の動力学 生体機能を模倣した光科学の研究とナノ・バイオ応用 有機半導体の光・スピン・デバイス物性 超高速現象を対象とした光物性研究 レーザー冷却実験、気体のボース凝縮 超低温物理学：量子液体の相転移現象と量子渦 多重極限環境の創製と極限物性研究 分子性磁性体の構築および物性研究 高輝度放射光回折法による構造物性研究 生物現象の数理物理および非線形物理学 微視的力学法則に基づく非平衡統計力学 光合成系における構造とエネルギー伝達機能の解明 イオン結晶及び半導体の光学的性質の研究 超高速および量子光学的現象を対象とした光物性研究 超低温物理学：量子液体の相互作用と位相欠陥 低次元・量子スピン系の物質合成と磁性の研究 有機ラジカルを用いたフラストレーション系の研究 高分解能粉末回折による遷移金属化合物の構造物性研究 無機固体物質を対象とした熱電物性の研究 物性理論：量子流体力学 物性理論：強相関電子系、量子輸送 外場駆動量子系の動力学 超低温物理学：量子液体中の音波の伝播 開放系の量子動力学および非エルミート物理

《化学専攻》

講座名・ 講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
無機化学・ C1	有機金属錯体化学 先端分析化学 生体分子設計学 複合分子化学 資源環境化学 機能化学	松坂裕之 坪井敏之 中島内尾史 森天豊 篠田哲 竹本尾真 西岡孝訓 藤井律子 三宅弘一 柚山健一 板崎真澄 三枝栄	有機金属クラスター錯体の創成と機能開拓 ナノ・マイクロ分析化学・分光計測とプラズモニクス 金属タンパク質を基盤とする機能性材料の開発 ハイブリッド錯体システムの創成 人工光合成系構築のための機能性分子の設計と創製 分子認識素子の開発と機能 多金属触媒を活用した環境調和型分子変換反応の開拓 革新的な分子変換を実現する有機金属錯体の創成 機能性錯体及び無機材料の設計 光合成機能性分子の構造と光化学 動的超分子錯体の創成と機能化 光の力学作用を利用した物質操作手法の開発と顕微計測 遷移金属錯体による分子変換反応の開発 分子認識素子の集積化と機能性材料の開発
物理化学・ C2	分子物理化学 理論計算化学 電子物性学 光物理化学 機能物質化学 生命物理化学 構造物理化学	佐藤和信 麻田俊雄 野野治一 吉野知幸 八橋 原秀紀 細川千絵 中嶋琢也 塩見大輔 迫田憲治 藤原亮正 宮原郁子 豊田和男 岩本賢一 増井恭子 酒巻大輔 満田祐樹	電子磁気共鳴法による分子磁性化合物の電子状態、分子スピン量子情報処理 分子集合体および生体分子内反応の理論的研究 低次元伝導体の輸送現象と高効率熱電材料の探索 高強度超短パルスレーザーと分子との相互作用 π 電子系機能性有機分子材料の開拓と物性解明 光摂動を用いた細胞内分子機能の解明 金属クラスターの開発と構造物性相関の解明 結晶性有機固体の磁性・磁気共鳴 複雑分子システムにおける機能発現機構の解明 星間雲における分子認識と化学進化の実験的研究 たんぱく質の立体構造と機能 分子の磁性・励起状態に関する理論化学・計算化学 イオン移動度分析法による気相イオンの構造と反応 細胞機能解明に向けた顕微分光計測手法の開発 特異な構造と電子状態を有する π 電子系物質の開発 生体分子の計算機シミュレーション手法開発
有機化学・ C3	合成有機化学 物理有機化学 分子変換学 物性有機化学 有機反応化学 有機分子化学 精密有機化学 有機元素化学	森善樹 松原浩 品田哲郎 小寄正敏 藤藤哲也 神川憲 西村貴洋 大橋理人 福山高英 臼杵克之助 坂口和彦 津留陽大 西川慶祐 小島秀夫 牧野泰士 中山淳 館祥光 植田光洋 道上健一	合成有機化学・天然物有機化学 環境に配慮した新しい合成手法の開発とその解析 高度生体応答物質の合成研究 有機材料化学、精密構造を有する機能性高分子の創出 触媒を用いた有機合成反応の開発 らせん状多環芳香族炭化水素の精密合成および機能開拓 触媒的不斉合成反応の開発 含フッ素遷移金属活性種の創製と分子変換反応の開発 遷移金属触媒反応の設計及び高効率反応プロセスの開発 生物有機化学：生物活性物質の構造決定・合成・機能解析 反応活性種の設計・制御と分子変換法の開発 典型元素を有する新しい機能性有機分子の開発と応用 高活性天然有機化合物の合成と新規合成手法の開発 生体触媒を利用する有機合成 合成基質を用いた酵素反応の精密解析 天然有機化合物を基盤とした包括的化学研究 生体の機能解明と分子構造の精密制御による機能分子の創成、開発 多点認識型および多機能型分子触媒の創製 分子設計に基づく機能開拓および革新的分子変換法の開発

《生物学専攻》

講座名・講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
分子機能生物学・D1	環境生物機能学 酵素化学 分子微生物学 分子生理学 生体分子機能学	増井 良治 寺北 明久 小柳 光正 藤田 憲一 山口 弘 伊藤 和央 徳本 勇人 吉原 静恵	DNA修復と翻訳後修飾の分子機構 シグナル伝達に関与するタンパク質の多様性と構造・機能の連関 光受容タンパク質の構造と機能の多様性と進化 薬剤耐性機構を標的とする生理活性物質 細菌の自殺遺伝子の制御に関する研究 酵素の構造・機能相関と調節およびその応用 応用微生物学、バイオレメディエーション、腸内細菌叢、植物生理学に関する研究 植物、微生物の環境応答分子機構の研究
生体機能生物学・D2	細胞機能学 植物機能学 発生生物学	曾我 康一 宮田 真人 中村 太郎 鈴木 孝之 若林 和幸 水野 寿朗 豊永 拓真	環境要因による植物の成長と形態形成 モリクテス綱細菌における三種の運動メカニズムと起源 分裂酵母における有性生殖の分子メカニズム 脊椎動物の骨格パターン形成と発生・進化の分子メカニズム 植物細胞壁の構造と機能 動物の比較発生学および実験形態学 マイコプラズマ滑走超分子モーターの構造と変化
自然誌機能生物学・D3	植物進化適応学 生物多様性科学 植物生態学 動物生理学 動物社会学	後藤 慎介 伊東 明 山田 敏弘 安房田 智司 淵側 太郎 名波 哲 厚井 聡 石原 道博 江副 日出夫 小口 理一 吉川 徹朗 西野 貴子	動物の環境適応の生理学 植物の更新過程と多種共存機構 植物の進化形態学と古植物学 魚類の繁殖戦略についての行動生態学的研究 動物社会のリズム生態学 植物の性表現と個体群維持機構 植物の多様性と適応進化 植食性昆虫における生活史戦略とその進化プロセスに関する研究 生物の個体群動態と適応進化に関する数理生態学的研究 植物の環境応答の生理生態学 生態系における多様な生物間相互作用の構造と機能 被子植物における適応進化、および種分化に関する研究
統合生物学・D4	植物生理学 遺伝子科学	加藤 幹男 宮本 健助 小林 康一	ゲノム構造の進化と遺伝子機能に関する研究およびメタゲノミクスを活用した生態系評価法の開発 高等植物の成長、発達に関する生理学的研究 葉緑体の発達制御と光合成膜の構築に関する研究

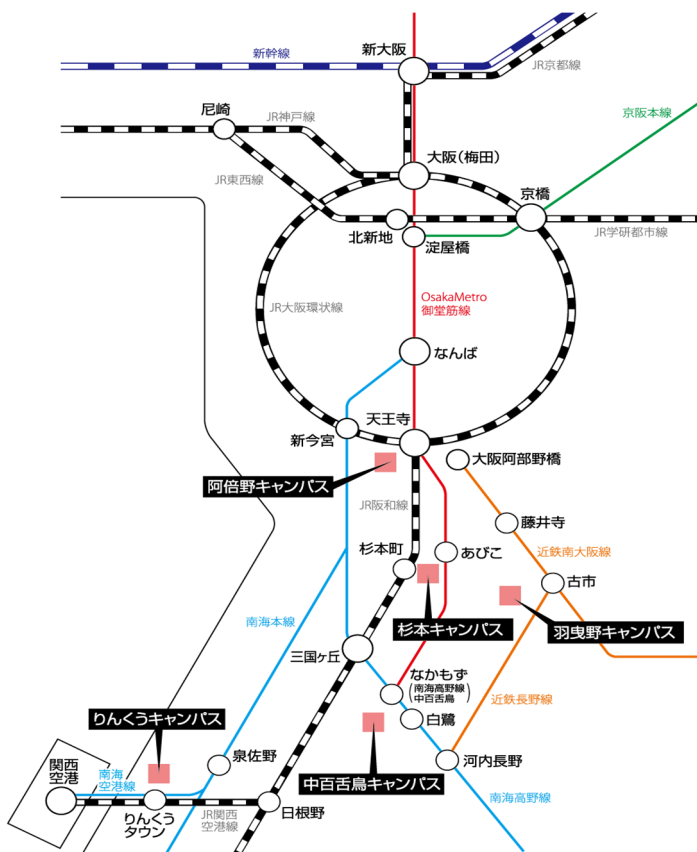
《地球学専攻》

講座名・講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
地球進化学・E1	地球史学 岩石学 地球物質学	篠田 圭司 奥平 敬元 江崎 洋一 瀬戸 雄介 柵山 徹也 足立 奈津子 桑原 希世子	X線回折と分光法を用いた鉱物の研究 地殻ダイナミクス：下部地殻の変成・変形作用 地球環境変遷史・化石刺胞動物の系統 鉱物の微細組織・結晶構造・化学組成 マグマの生成・分化とマンツルの熱・物質循環過程 礁生態系の変遷様式と地球表層環境の変動 微化石を用いた地球史の研究
地球環境学・E2	自然災害科学 地球情報学 地球物理学 第四紀自然学	三田村 宗樹 廣野 哲朗 Venkatesh RAGHAVAN 三浦 大助 奥野 充 井上 淳 福田 惇一 根本 達也 石井 和彦	都市地質学：大阪平野の地盤特性 地球物理学：地震と断層の物理化学的研究 地球情報の数値化とコンピュータ処理 地質学に基づく火山噴火現象の解明 自然災害に関する地形・地質学および放射線炭素年代学的研究 第四紀学：人と自然の相互作用の歴史 岩石鉱物の破壊と変形に関する物質科学 地質情報の共有と利活用 岩石の変形と地殻・マンツルのダイナミクス

《生物化学専攻》

講座名・講座番号	専門分野	氏名	研究テーマ
生体分子化学・F1	植物細胞生化学 計算生化学 生体高分子化学 生命化学 構造生物学	木下 誉富 中瀬 生彦 円谷 健圭 森次 真紀 恩田 恵美 竹田 大佑 藤原 道孝	タンパク質の高次構造に基づいたシグナル伝達機構の解明及び創薬研究 ペプチド化学・細胞工学を用いた細胞内薬物送達と機能制御の基盤技術開発 タンパク質機能の分子設計に関する研究 計算による生体分子機能の解明とその手法開発 タンパク質の構造再生機構の解析 植物の環境ストレス緩和機構の研究 ヒトプロテオームを制御する分子標的ペプチドの創出研究 機能性ペプチドの設計と生物機能の解明およびバイオ医薬品開発に関する研究
分子細胞生物学・F2	放射線生物学 環境分子毒性学 細胞生物学 分子生物学 細胞組織工学	原 正之 居原 秀 佐藤 孝哉 川西 優喜 児玉 靖司 森 英樹 竹中 延之 笠松 真吾 白石 一乗	生体材料を用いた細胞の培養と増殖・分化の制御等、再生医療に関する研究 神経機能に関する分子細胞生物学的研究 動物細胞のシグナル伝達と疾患のメカニズムに関する分子細胞生物学的研究 環境ストレス因子の生物影響に関する分子細胞遺伝学的研究 放射線の生物影響に関する細胞遺伝学および分子生物学的研究 生体材料を用いた幹細胞の物理的刺激に対する応答と分化・増殖制御に関する研究 動物細胞の外界の刺激への応答とシグナル伝達機構に関する分子細胞生物学的研究 生体内レドックスシグナル制御機構に関する分子細胞生物学的研究 マウスを用いた放射線の生物影響についての研究

交通アクセス



■ 杉本キャンパス



- ・ JR阪和線「杉本町（大阪市立大学前）駅」下車、東口からすぐ
- ・ Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約15分

問合せ先

■ 専攻・分野・受験科目・過去問題等

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

大阪公立大学 理学研究科教務担当（杉本キャンパス学生サポートセンター）

TEL 06-6605-2504 月～金曜日（祝日及び休業日を除く）

9：00～17：00（12：00～12：45を除く）

■ 出願手続等

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

大阪公立大学 入試課（杉本キャンパス学生サポートセンター）

TEL 06-6605-2141 月～金曜日（祝日及び休業日を除く）

9：00～17：00（12：00～12：45を除く）